



**種名**：コイ(型不明) *Cyprinus carpio*

**分類**：在来種と国外外来種が混在 純淡水魚

### ○大きさ

- ・成魚：30～100cm

### ○生息箇所(すみか)

- ・利根川下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。

### ○生態(どんな生活をしているか)

- ・強い雑食性(ざっしょくせい)で水草や昆虫、底生動物等などなんでも食べる。野生型は人になれにくい。
- ・春から初夏(4～7月)に水辺のヨシや浮遊物(ふゆうぶつ)に卵を産み付けます。フナの産卵より1カ月くらい遅い。

### ○釣りや漁業

- ・ヘラブナは釣りと同じでウキ釣りが多い。餌はねり餌が一般的ですが、食パンでも釣れる。
- ・利根川や霞ヶ浦では、定置網(ていちあみ)や刺網(さしあみ)を使う伝統漁法(でんとうぎょほう)があります。

### ○地域利用

- ・コイは縁起の良い魚として、徒然草や鯉のぼりや観賞用の錦鯉(にしきごい)などなど、古来より日本文化とつながりが深い魚です。
- ・利根川や霞ヶ浦ではコイのあらいやうま煮等の数々の郷土料理があり、地域文化ともつながっています。
- ・コイには野生型(やせいがた)と飼育型(しいくがた)の2種類がいます。昔から放流されていたため、混血が進み野生型は少なくなっています。